

令和元年度 我孫子市平和事業

長崎派遣報告書



千葉県我孫子市

内容

■ 我孫子市の平和都市宣言と平和事業	3
平和都市宣言	4
平和の記念碑	5
■ 被爆地への中学生派遣事業	6
派遣の目的	6
派遣内容	6
派遣人数	6
団員の活動	6
令和元（2019）年度の派遣事業	7
長崎派遣 3 日間の行程	8
■ 長崎派遣の報告	16
派遣に向けて	18
第 1 日目	22
第 2 日目	31
第 3 日目	48
■ 派遣後の活動	50
被爆 74 周年我孫子市平和祈念式典	51
手賀沼とろう流し	56
「広島・長崎派遣中学生リレー講座～未来を生きる子どもたちへ～」	59
平和の集い～我孫子から平和を願う～	67
■ 私たちの平和宣言	71
我孫子中学校 2 年 岡 智希、稲見 帆夏	72
湖北中学校 2 年 佐藤 皓介、岡島 舞衣香	73
布佐中学校 2 年 鈴木 友瀬、五定 舞桜	74
湖北台中学校 2 年 齋藤 向太、飯田 愛菜	75
久寺家中学校 2 年 山田 叶真、工藤 心陽	76
白山中学校 2 年 本田 拓海、市川 みなみ	77

■平和祈念文集	78
我孫子中学校 2年 岡 智希	79
我孫子中学校 2年 稲見 帆夏	81
湖北中学校 2年 佐藤 皓介	83
湖北中学校 2年 岡島 舞衣香	85
布佐中学校 2年 鈴木 友瀬	87
布佐中学校 2年 五定 舞桜	89
湖北台中学校 2年 齋藤 向太	91
湖北台中学校 2年 飯田 愛菜	93
久寺家中学校 2年 山田 叶真	95
久寺家中学校 2年 工藤 心陽	97
白山中学校 2年 本田 拓海	99
白山中学校 2年 市川 みなみ	101
■参考資料	103
手賀沼公園 平和祈念碑マップ	
被爆 74 周年長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典 パンフレット	
広島平和宣言	

■ 我孫子市の平和都市宣言と平和事業

我孫子市は、昭和 60（1985）年 12 月 3 日に「平和都市」を宣言し、翌年、広島市から被爆した旧市庁舎の側壁と敷石を譲り受け、手賀沼公園内に「平和の記念碑」を建立しました。その後、毎年 8 月に、平和の記念碑前で、我孫子市原爆被爆者の会とともに平和祈念式典を開催してきたほか、戦後 50 年、60 年、65 年、70 年の節目の年には記念事業を実施しています。

その間、戦争や原爆の体験者の高齢化は進み、その恐ろしさや悲惨さを直接伝えることのできる方は年々少なくなってきました。そのため、市では、戦後 60 年にあたる平成 17（2005）年から、被爆地への中学生派遣事業をスタートし、被爆の実相や平和の尊さを次の世代に伝えていく取組みを始めました。

また、平成 20（2008）年に「我孫子市平和事業推進条例」を制定し、我孫子市平和事業推進市民会議を設置して、市民とともに平和事業に取り組んでいます。さらに、平成 24（2012）年には、広島・長崎両市から譲り受けた被爆アオギリ・クスノキⅡ世の苗木を手賀沼公園に植樹しました。

平成 27（2015）年には、戦後 70 年・我孫子市平和都市宣言 30 年記念平和事業として、毎年行っている平和事業を拡大して実施しました。8 月には、広島平和記念公園の「平和の灯」から火を譲り受け、手賀沼公園の平和の記念碑そばに設置した「平和の灯」にその火を灯し、核兵器がこの世界からなくなるまで常時灯し続けることとしました。また、12 月には、広島の「原爆の子の像」のモデルとなった佐々木禎子さんが病床で折った折り鶴「禎子鶴」が、首都圏では初めて、国内では 5 番目に、遺族から市に寄贈されました。禎子鶴は、生涯学習センター「アビスタ」に常設展示しています。

さらに、この年、これまでに広島や長崎に派遣された経験をもつ歴代の派遣中学生（平成 27 年度時点では、高校生・大学生）が、自分たちの派遣体験を次の世代に伝えていこうという思いで、「広島・長崎派遣中学生リレー講座～未来を生きる子どもたちへ～」を企画しました。そして、自らが講師となって小学校全 13 校を訪問し、小学 6 年生向けに、平和の大切さを伝える授業を行い、令和元年（2019）年度も取組みを続けています。

令和元年度の派遣中学生も、小学 6 年生のときに「リレー講座」を受けました。派遣から帰ってきたあとは、リレー講座に参加し、派遣で学んだことや平和への想いを後輩たちに伝えました。

今後も我孫子市は、平和都市宣言のもと、市民の皆さんとともに平和事業に取り組んでいきます。

平和都市宣言

平和都市宣言

世界の恒久平和は、人類共通の願いである。

しかしながら、今日なお世界の動きは、核戦争の危機をはらみ、誠に憂慮にたえない。

わが国は唯一の被爆国として、核兵器の恐ろしさと、被爆者の苦しみを全世界の人々に訴え、再び広島・長崎の惨禍を繰り返してはならない。

我孫子市は市民の生命と安全を守るため、いかなる国のいかなる核兵器に対しても、その廃絶を求め、ここに平和都市を宣言する。

昭和 60 年 12 月 3 日

我孫子市

平和の記念碑

記念碑は、広島平和記念公園の原爆慰霊碑をモデルにした八ニワ型のミカゲ石（高さ 1.9m、幅 2.2m、奥行 0.6m）で、その下に被爆した広島市の旧市庁舎の側壁と敷石各 1 つずつを黒ミカゲ石の台座の上に配しています。

平和の記念碑

碑文

街は静かな朝をむかえていた。

昭和二十年八月六日 午前八時十五分

人類最初の原子爆弾は広島市に投下された。

鋭い閃光を放ち爆発した原子爆弾は巨大な

火の玉と化し熱線と爆風をこの街にたたきつけた。

大人も子どもも街と共に消え失せた。

この石は爆心地に近い広島市旧市庁舎の

側壁と敷石である。

もの言わぬ被爆の証人として

人々の心に訴えている――

再び戦争というあやまちを繰り返してはならない……と

■被爆地への中学生派遣事業

派遣の目的

- ・ 被爆地である広島や長崎で、平和祈念式典への参列や、原爆関連の資料館や施設の見学などを通じて、戦争や核兵器の恐ろしさ、平和の尊さを知ること。
- ・ 派遣体験を今後の平和に関する学習の糧にするとともに、この体験を活かし、「広島・長崎派遣中学生リレー講座」などに参加することにより、次の世代への継承に貢献してもらうこと。

派遣内容

- ・ 広島平和記念式典、長崎平和祈念式典への参列
- ・ 青少年ピースフォーラムへの参加
- ・ 広島の平和記念公園や平和記念資料館、長崎の平和公園や原爆資料館などの被爆関連施設の見学
- ・ 広島や長崎を訪れている方へのインタビュー など

派遣人数

平成 17（2005）年度から平成 24（2012）年度までは 6 名（市立中学校 6 校から各 1 名ずつ）、平成 25（2013）年度からは 12 名（各中学校 2 名ずつ）を派遣しています。

なお、平成 27（2015）年度は、戦後 70 年・我孫子市平和都市宣言 30 年の節目の年にあたるため、24 名（各中学校 4 名ずつ）を派遣しました。

団員の活動

- ・ 事前説明会、事前学習会、市長・教育長との懇談会への参加
- ・ 平和祈念式典への参列
- ・ 派遣感想文の作成
- ・ 我孫子市平和祈念式典への参列、派遣報告
- ・ 「広島・長崎派遣中学生リレー講座」への参加、学校等での派遣体験の伝承
- ・ 「平和の集い」における派遣報告

令和元（2019）年度の派遣事業

令和元年度は、12名（市立中学校6校から男女各1名ずつ）を長崎に派遣しました。また、市の代表として市長・教育長が、引率者として我孫子市平和事業推進市民会議委員1名、市職員3名が同行しました。さらに1名が個人参加しました。

● 中学生派遣団

氏名	ふりがな	性別	学校名	学年
岡 智希	おか ともき	男	我孫子中学校	2
稲見 帆夏	いなみ はんな	女		2
佐藤 皓介	さとう こうすけ	男	湖北中学校	2
岡島 舞衣香	おかじま まいか	女		2
鈴木 友瀬	すずき ともせ	男	布佐中学校	2
五定 舞桜	ごじょう まお	女		2
齋藤 向太	さいとう こうた	男	湖北台中学校	2
飯田 愛菜	いいだ あいな	女		2
山田 叶真	やまだ とうま	男	久寺家中学校	2
工藤 心陽	くどう こはる	女		2
本田 拓海	ほんだ たくみ	男	白山中学校	2
市川 みなみ	いちかわ みなみ	女		2

● 引率者

氏名	ふりがな	性別	所属
大兼 夏美	おおがね なつみ	女	平和事業推進市民会議
齋藤 絵里香	さいとう えりか	女	市教育委員会 指導課
安武 真弓	やすたけ まゆみ	女	市 企画課
岡村 優香	おかむら ゆか	女	〃

● 個人参加

氏名	ふりがな	性別	所属
的山 ケイ子	まとやま けいこ	女	平和事業推進市民会議 (我孫子市原爆被爆者の会)

長崎派遣3日間の行程

■1日目〔8月8日(木)〕

7:00

出発式 けやきプラザ前集合



7:13発
～12:00着

我孫子駅～(上野東京ライン)～品川駅～(京急)～
羽田空港国内線ターミナル・羽田空港～(JAL607便)～長崎空港



12:45
～13:25

平和会館ホールへ移動(長崎空港～(リムジンバス)～平和公園)



14:00
～15:20

青少年ピースフォーラムに参加、被爆体験講話の聴講



15:25
～17:25

3グループに分かれて被爆建物等のフィールドワーク、全体振り返り



18:30
～20:00

ホテルチェックイン後、移動して夕食（登利亭 長崎本店）



20:00
～21:15

バスで稲佐山に移動、山頂からの景色を見学



22:00
～22:30

宿泊先で、一日の反省と振り返り（ホテルベルビュー長崎出島）



みんな、1日目おつかれさまうな～！

フィールドワークで長崎の街を歩いたり、貴重な話を聞いたりして、戦争や原爆について学ぶことができたうなあ。

新しい仲間ともすっかり打ち解けたみたいだうなあ。

今日の反省と振り返りを活かして、明日もがんばるうなあ！



■2日目〔8月9日（金）〕

8 : 1 5
 ~ 8 : 4 5

平和公園にて、我孫子市民から寄せられた千羽鶴と各中学校で作成した千羽鶴を奉納。平和祈念像の前で平和を祈念



9 : 1 0
 ~ 9 : 3 0

4つのグループごとに、平和公園来場者、式典参加者へインタビュー（平和公園、式典会場内）



10:40
~11:45

長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典に参列



12:00
~13:00

昼食（和泉屋 平和公園前店）



13:30
~15:30

青少年ピースフォーラムに参加（長崎ブリックホール国際会議場）
全国から集まった同世代の若者と平和について意見交換



16:00
~18:00

長崎原爆資料館、国立長崎原爆死没者追悼祈念館の見学



18:30
~20:00

夕食（ホテルセントヒル長崎）

20:30
~21:15

グラバー園見学

帰り道に、大浦天主堂と出島も見ることができました



22:00
～22:30

宿泊先で、一日の振り返りと反省（ホテルニューヒロデン 1F ラウンジ）
星野市長から、青少年ピースフォーラムの修了証が交付されました



みんな、朝早くから夜遅くまで、1日おつかれさまうな～！

この日も暑い一日だったうなね～。

平和祈念式典や資料館の見学を通して、沢山学んだうなあ。

反省会も、団長と副団長を中心に真剣に取り組んでいて、
素晴らしかったうなね～。

明日は最終日。最後までがんばるうなあ！



■3日目〔8月10日(土)〕

9:30

～11:15

長崎歴史文化博物館の見学



11:30

～12:30

昼食 (ホテルニュー長崎 ハイドレンジャ)

12:30

～18:52着

長崎駅～(リムジンバス)～長崎空港～(JAL612便)～
羽田空港～(京急)～品川駅～(上野東京ライン)～我孫子駅



19:00頃

我孫子に帰着。出迎えてくださったみなさんに、派遣報告とお礼。

(けやきプラザ前)



▲ 平和祈念像前にて

みんな、3日間おつかれさまうなあ。

どんな体験が心に残ってるうなあ？

長崎で学んだ原爆の恐ろしさや平和の大切さを、これからも
周りのひとや後輩たちに伝えていってほしいうなあ！

